

体育男子

単位数	2 単位	対象学年	3 学年(男子)	対象コース・クラス	全クラス
使用教科書	スポーツルール 大修館書店	副教材等	現代高等保健体育、ノート 大修館書店		

1. 学習の到達目標

心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、知識と技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る。生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のため、実践力、育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活をはぐくむ態度をお育てる。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ・運動の楽しさや喜びを深く味わい自ら進んで運動できるようにするために、体を動かすことの楽しさや必要性、各種の運動の特性などについて解説する。
- ・発達の段階や運動の特性や魅力に応じて、合理的に運動を実践する。
- ・技能を高めたり、作戦を立てたりするなどの過程を通して、仲間と適切な関係を築き、課題の解決を目指して取り組む。
- ・健康・安全を確保し、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、生涯を通じて継続的な運動ができるように、身体活動の意義や、運動の特性、各種目のルール及び審判法などに触れるよう配慮する。

3. 学習上のメッセージ

- ①実技教科である体育はまず、安全に実技が行える服装、心構え、身体の準備が大切です。そのため、各時間必ず行われる準備運動、補強運動には遅れることなく参加し、その日に行う運動についての諸注意を必ず聞いてください。
- ②体育は小学校の頃から得意な人、苦手な人が大きく分かれる教科です。得意な人は、より高度な技術と理論を身につけるように、苦手な人は、少しでも努力し、今まで出来なかった実技が少しでもできるようになるよう取り組んで下さい。
- ③集団行動は集団生活で必要かつ大切なものです。体育の授業だけでなく、学校生活全般でも継続して実践しましょう。
- 球技は、チーム・ペアでの役割・責任を果たすことと協力することを学べます。陸上競技・なわとびは、自己の能力に応じて運動技能・記録を高め、新たな技能の習得を目指します。持久走(マラソン)は、自己の持久力を高めるとともに、克服型スポーツとしてやり遂げる達成感を味わったり、自分自身に自信をつけたりし、積極的に授業に参加しましょう。

4. 評価の観点・方法 (年間の評定)

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わえるよう公正、協力、責任などに対する意欲を高め、健康・安全を確保しているか。
思考・判断	自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組方を考えているか。
技能・表現	各領域における技能や攻防の様相、動きの様相を習得しているか。
知識・理解	各領域に応じて技術の名称や行い方、体力を高める方法、課題解決の方法、練習や発表ができているか。

- ①各種目ごとに実技試験を行う。
- ②授業の遅刻・忘れ物・出欠席の状況。
- ③授業への積極的な参加。
- ④体育理論でのプリント、ノート提出。
- ⑤広島桜が丘高校の生徒としての規則に則った服装で取り組むこと。
1年間の評点は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
体づくり運動	ラジオ体操 陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動のおもな行動様式を身につけ、機敏、的確に行動する。 ・仲間との活動を通して、交流を深める。 ・多彩で手軽な運動や律動的な運動を通じて、体力を高める。
集団行動	集団行動	
スポーツテスト	スポーツテスト	
体育祭	体育祭練習	
運動理論	生涯スポーツの見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツに対する見方や考え方がどのような社会の変化からもたらされたのか、またライフステージに対応したスポーツの楽しみ方とは何かについて学習する。
球技	バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。
運動理論	ライフスタイルに応じたスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを「する」ことを生活のなかにうまく取り入れていくためには、どのようなことを考えなければならないのか。「する」に関わるスポーツライフの設計について、その考え方や方法について学習する。
1 学期期末試験		
球技	ゴール型 ネット型 ベースボール型	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。 ・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。
運動理論	日本のスポーツ振興	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興の歩みを知るとともに、総合型地域スポーツクラブをはじめ地域におけるスポーツ活動の充実方策などについて学ぶのがねらいである。
運動理論	スポーツと環境	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが環境と調和しながら、一層発展していくためには、環境の保護に努め、環境に配慮した行動が求められることを理解させることを目指す。
2 学期期末試験		
軽スポーツ	軽スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット型・ゴール型のスポーツに取り組み、競技の特性を考えながら戦略、戦術など考え、チームの特徴を活かし取り組む。
卒業試験		

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
学習の手引き シラバス説明													
実技	ラジオ体操 陸上競技												
	集団行動												
	スポーツテスト												
	体育祭練習												
運動理論	生涯スポーツの見方・考え方												
実技	バスケットボール												
運動理論	ライフスタイルに応じたスポーツ												
1 学期期末試験													
実技	球技(ネット型)												
運動理論	日本のスポーツ振興												
実技	球技(ゴール型・ベースボール型)												
運動理論	スポーツと環境												
2 学期期末試験													
軽スポーツ	軽スポーツ												
卒業試験													